



東北大学

報道機関各位

2012年 10月 24日
東北大学大学院生命科学研究科
生態適応グローバル COE

東北大学生態適応 GCOE コンソーシアム・シンポジウム
「気候変動と生物多様性の危機 ～企業はどう準備すれば
いいのか～」 開催のご案内

<概要>

東北大学生態適応グローバル COE（生態適応 GCOE）では、産官学 NGO・市民のそれぞれのセクターが集い、情報共有をはかり、人材交流・育成、共同研究の機会を提供することを目的として、環境機関コンソーシアムを組織し、生態適応力を活かした生態系保全・管理に関する研究を行ってまいりました。

このたび、この研究活動の4年間の集大成として、気候変動と生物多様性の危機にどのように対応すべきかを論議し、持続可能な企業経営方法を提言するシンポジウムを下記のとおり開催いたします。

昨年秋のタイにおける洪水では、日本企業を始めとする世界経済に深刻な影響がありました。この背景には気候変動による自然災害の大型化や頻度の上昇、過去30年間の森林減少による生態系サービスの低下があると考えられます。さらには新興国を中心とした資源需要の急増による穀物や水などの資源価格の高騰や品不足も心配されています。今後、企業経営を安定的に行うためには、サプライチェーン全体を管理して調達の安定性を図る必要があるでしょう。本シンポジウムでは、激変する生態系と生物多様性に対して企業はどのように適応策を考えるべきなのか、先進的な事例を紹介し、大学、企業、行政が今後どのような協働を進めるべきかを議論します。

つきましては、広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

主 催： 東北大学生態適応 GCOE 「環境機関コンソーシアム」

日 時： 2012年10月26日(金) 13時30分～18時30分

場 所： 海運クラブ（東京都千代田区平河町2-6-4 海運ビル）

参加費： 無料

参加申込： 下記 Web より参加申込してください。（定員130名先着順）

<http://gema.biology.tohoku.ac.jp/consosympo2012/>

<プログラム>

- ◆開会挨拶 東北大学生態適応GCOE環境機関コンソーシアム会長 市田則孝
- ◆来賓挨拶 環境省自然環境局自然環境計画課
生物多様性施策推進室長 牛場雅己氏

- ◆基調講演1 「気候変動と生物多様性の危機は生態系サービスをどのように変えるのか？」
東北大学大学院生命科学研究科教授／GCOE拠点リーダー 中静透

- ◆基調講演2 「サプライチェーン全体のフットプリントの測り方
～事例と成果の紹介～」
英国Trucost社
Head of Environmental Finance Mr. Niel McIndoe

- ◆企業事例
味の素株式会社 「持続可能な原材料調達に向けて」
味の素株式会社 環境・安全部兼CSR部 専任部長 杉本信幸氏

サラヤ株式会社 「資源と野生生物の保全を両立する」
サラヤ株式会社 営業統括本部
コンシューマー営業部 マーケティング担当部長 代島裕世氏

日本水産株式会社 「水産資源の現状と持続可能な利用を目指して」
日本水産株式会社 環境オフィス オフィサー 日吉栄一氏

- ◆パネルディスカッション 「激動する生態系の変化にどう適応するか？」
パネリスト：企業事例発表者、中静透
ファシリテーター：株式会社レスポンスアビリティ代表取締役 足立直樹氏

- ◆閉会挨拶

- ◆レセプション（参加費 2,000 円／学生 1,000 円）

（お問い合わせ・取材等のお申し込み先）

東北大学大学院生命科学研究科 生態適応グローバル COE

TEL: 022-795-3637

e-mail: eco-gcoe@bureau.tohoku.ac.jp

気候変動と 生物多様性の危機

～企業はどう準備すればいいのか～

生態適応GCOE「環境機関コンソーシアム」は、これまで4年間の集大成として、気候変動と生物多様性の危機にどのように対応するべきかを論議し、持続可能な企業経営方法を提言するシンポジウムを開催いたします。

昨年秋のタイにおける洪水では、日本企業を始めとする世界経済に深刻な影響がありました。この背景には気候変動による自然災害の大型化や頻度の上昇、過去30年間の森林減少による生態系サービスの低下があると考えられます。さらには新興国を中心とした資源需要の急増による穀物や水などの資源価格の高騰や品不足も心配されています。今後、企業経営を安定的に行うためには、サプライチェーン全体を管理して調達の安定性を図る必要があるでしょう。本シンポジウムでは、激変する生態系と生物多様性に対して企業はどのように適応策を考えるべきなのか、先進的な事例を紹介し、大学、企業、行政が今後どのような協働を進めるべきかを議論します。奮ってご参加ください。

2012年 10月26日(金)

13:30～18:30 (13:00開場)

入場無料(要事前登録)
言語:日本語・英語(同時通訳付き)

海運クラブ
東京都千代田区平河町2-6-4 海運ビル

主催:東北大学生態適応グローバルCOE「環境機関コンソーシアム」 後援:環境省・経済産業省

問い合わせ先:東北大学「生態適応グローバルCOE」 Tel:022-795-3637

- 13:30 **開会挨拶** バードライフ・インターナショナル 特別顧問 市田 則孝
- 13:35 **来賓挨拶** 環境省自然環境局自然環境計画課 生物多様性施策推進室長 牛場 雅己氏
- 13:40 **基調講演 1** **気候変動と生物多様性の危機は生態系サービスをどのように変えるのか?**
東北大学大学院生命科学研究科教授／生態適応GCOEリーダー 中静 透
- 14:20 **基調講演 2** **サプライチェーン全体のフットプリントの測り方 ～事例と成果の紹介～**
英国Trucost社 Head of Environmental Finance Mr. Niel McIndoe
- 15:20 **企業事例** **味の素株式会社 —— 「持続可能な原材料調達に向けて」**
環境・安全部兼CSR部 専任部長 杉本 信幸氏
- サラヤ株式会社 —— 「資源と野生生物の保全を両立する」**
営業統括本部 コンシューマー営業部 マーケティング担当 部長 代島 裕世氏
- 日本水産株式会社 —— 「水産資源の現状と持続可能な利用を目指して」**
環境オフィス オフィサー 日吉 栄一氏
- 16:40 Coffee Break
- 17:00～18:20 **「激動する生態系の変化にどう適応するか？」**
■ ファシリテータ 株式会社レスポンスアビリティ代表取締役 足立 直樹氏
■ パネリスト 企業事例発表者3名・中静 透
- 18:20 **閉会挨拶** 東北大学大学院生命科学研究科教授 河田 雅圭
- 18:30～ **レセプション** 参加費 2,000円／学生 1,000円 参加費は当日受付にて申し受けます

※ プログラム(タイトル・講演者等)は一部変更になる場合がございます。ご了承下さい。



申し込み方法

シンポジウム参加希望の方はWEBよりお申し込みください。

<http://gema.biology.tohoku.ac.jp/index.html>

問い合わせ先

東北大学「生態適応GCOE」 TEL: 022-795-3637 / FAX: 022-795-3638

〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 e-mail: eco-gcoe@bureau.tohoku.ac.jp